

## 南ユタ大学の三週間の短期留学を終えて

6077 千葉佑介

今回の短期留学が自分にとって初めての海外体験だった。ユタ州は砂漠気候で日中気温が高く、夜になると気温が一気に下がる。また日本と違いかなり乾燥している。住みやすい環境ではなかったが、やさしいホームステイファミリーや友達に支えられて有意義な三週間を過ごすことができた。午前中は南ユタ

大学の教授によって、英語で授業が行われた。授業の内容自体は難しいものではないが全て英語で行われるため、聞き取ることで精一杯だった。後半には、別の留学生のクラスに向けてプレゼンテーションをする機会があり、英語を聞くだけでなく話す練習にもなった。午後は、南ユタ大学の学生へのインタビューや博物館見学、スポーツなどさまざまなアクティビティを行った。夜は大学で開かれる行事に参加するオプションか、ホームステイファミリーと過ごすかを選択でき、どちらも学ぶことが多くあった。一番のオプションはおそらくレッドペイントと呼ばれる学生に



によるお祭りである。メインストリートを封鎖して学生がさまざまな催しものをする。また、ホームステイファミリーとは土日や夜にドライブやショッピング、教会に行くなどアメリカの文化を体験することができた。ホームステイ先は自分で選ぶことができず、行く前は不安も大きかったが実際あってみて親切な家族だった。他の生徒の話を聞いてみてもそれぞれ特徴があるが、どのホストファミリーもやさしかったと話している。また他の生徒のホームステイファミリーと **BBQ** をして交流する機会があり、実際にスポーツや話してみたが優しい人たちだった。ユタ州には五つの国立公園があり、私たちはブライス



キャニオンに一日かけて行ってきた。天候は雨で残念だったが、日本の国立公園とはまったく異なる景色を楽しむ事ができた。その他にも、射撃や、ハイキング、アメリカでの日本食、フットボール観戦など貴重な体験をした。今回の留学を通じて今まで面識のない函館校の生徒や他分校の生徒とも関係を深めることができた。この三週間ではできる限りホームステイ先でも部屋にこもらず家族とい

ることを率先して英語力が向上を目指した。とは言いきることはできないが少なくとも行く前よりは英語学習意欲は向上している。初めての海外での体験をできたことは自分にとってプラスになっていくと思う。

最後に今回このプログラムに参加してみて、必要だったと思うことを来年以降に参加する学生に向けて書く。

1) 昼と夜の寒暖差が大きく、また室内は冷房が効いているため上着は多めに

に持っていったほうがよい。2) 今回は自分も含め体調を崩す人が多かったため風邪薬やマスクは多めに持っていたほうがよい。3) ホームステイ先の住所に行く前に確認しておくこと。4) ほとんどカードでの支払いになるため現金はそれほど持つ必要がない。5) 参加した多くの学生がホームステイファミリーともっと英語で話したかったと後悔しているため、留学の参加の条件に TOEFL や IELTS の点数があるわけではないが、ある程度聞いて話せるようになっておいたほうがよい。6) 5 と重複するがこの留学は英語を勉強するためのきっかけでしかないため、留学前と留学後を大切にしてほしい。

